

東村山稲門会ニュース 第16号

H10年7月 4日 発行
発行責任者、大西 幸夫
編集局 塩見 之一
田口 政澄
小亀 輝雄

事務局、0423-94-6951

会からのお知らせ

◎ 8月定例役員会の案内

日時：8月8日(土) 14.00～14.30 発送準備(有志による)
14.30～16.30 役員会

場所：東公民館 第4集会室

なお、一般会員も時間の都合がつく方は気楽にご参加ください。

◎ 早稲田大学商議委員会の模様

日時：6月27日(土) 14.00～14.00

場所：総合学術センター内、井深大記念ホールおよび大隈会館

出席：大西

内容：(1)学事報告(奥島総長)

6月16日の総長選挙で再任が決まったことから、過去4年間取り組んできたこと、これからの4年間の方針について報告されました。

過去4年間の特徴的なことは

- ①アジア太平洋研究センターおよび大学院を発足させたこと(研究・教育)
- ②14号館という今までに類を見ない教育設備を完成させたこと(設備)
- ③経営的に累積赤字を減少させる方向が見えたこと
- ④革新派と言う20年間学内に巣食ってきた寄生虫をほぼ除去できたこと

今後の方針としては

- ①早稲田カラー 自由をあらためて確立すること
- ②自由の基本のもとに学問を追求する場とすること
- ③その学問をもとに世界中に貢献できる人材を送り出すこと

(2)会計報告(関 常任理事)

・97年度決算、帰属収入：724億円、基本金繰入+支出756億円

・98年度予算、帰属収入：704億円、基本金繰入+支出748億円

(3)商議委員会の今後のあり方

定例会議、従来年1回を2回とする

◎ 大学校友会代議員の選出

今年7月は校友会代議員の改選期に当たり、東村山で3名の選出依頼があり、役員会にて久世利夫、三宅良太、木谷肇の3氏にお願いすることと致しました。

◎ 会員の住所変更

馬場 陽四郎さん 旧住所：杉並区下井草5-22-14

新住所：練馬区中村南2-7-18-207

電話：03-3970-4857

墨田稲門会の催し、お知らせ

早稲田大学演劇博物館支援特別公演

『話芸の魅力再発見』江戸下町、隅田川ゆかりの話をきく～

日時：7月12日(日) PM1時30分開場 2時～4時

会場：江戸東京博物館ホール(JR両国駅前)

入場料：3500円

別紙参照

同好会だより

着順掲載

㊦ テニス同好会

5月30日(土)テニス同好会がスタートしました。当日参加したのは、江藤・三宅・山下(同夫人)・当間(同夫人)の6名。

場所は あさひ銀行所沢テニスコート。特に際立った実力の持ち主もなく男女混合ダブルスを中心に午後2時から2時間、2面のコートを使用して気持ち良い汗を流しました。

なお、第2回を下記にて計画しました。奮ってご参加下さい。

記

日・時 7月25日(土)

午前9時半 東村山駅東口集合

(前回同様あさひ銀行所沢テニスコートを使用。雨天の場合は7月26日に順延、その他変更なし。)

ご希望の方は連絡下さい。

幹事 当間 ㊦ 391-6023

㊦ 絵画同好会

7月の定例連絡会を下記の要領で行います。どなたもお気軽にご参加下さい。

記

日 時 7月11日(土) pm 1:00 ~

場 所 中央公民館 1Fロビー

連絡先 宮 ㊦ 391-7542

塩 見 ㊦ 395-3718

なお当日、同じフロアで東村山市美術連盟展(会期 7月7日~12日)が開催中で、当会の宮さんが個人の資格で出品する予定です。下絵を拝見しましたが、見ごたえのある作品が期待出来ますので是非ごらん下さい。

(塩 見)

㊦ ゴルフ同好会

○ 夏休みリゾートコースプレーご案内

雄大な夏富士を背景にした白樺の林の間を白球が飛び抜けていく……

平成になってからオープンした数多くのコースの中で、名コースの評価(11位)を得ている鳴沢ゴルフ倶楽部でのプレーを企画します。

東村山から中央高速を経て1時間半。夏休みの一日を河口湖近くのリゾートコースでゆったりと過ごしましょう。

プレー日 平成10年 8月 4日(火)

8:35 インコース 2組

コ ー ス 鳴沢ゴルフ倶楽部

山梨県南都留郡鳴沢村 5 2 2 4

プレー費 30,000円(飲食別)

募集人員 2組8名(7月18日締切)

(車2台で往復予定)

連絡先 井 垣 和 太 ㊦ 396-3100

以 上

○ 知っ得ゴルフ(4)

4番ホール - カジュアルウォーター -

足元がぬかるんでいてこれじゃ泥を打つようなもの……。『カジュアルだから動かし易いよ』『オーケー』なんて気軽に球を拾い上げてフェアウェイのど真ん中へ持ってきてドロップしたあなた。立派な1打罰ものです。

「みんながやってるよ。」だから経済混乱・平成大不況・政治不信を招いてしまったのです。カジュアルウォーターとはプレーヤーがスタンスをとる前やとったあとに見えるコース上の一時的な水溜まりを言うのであって、ぬかるみ状態を言うのでは無いのです。かく言う筆者を含め、なんと多くのプレーヤーが大地を海だと言い募って来たことか。『まだ濡れきって無いのにタマを動かすなんて、早過ぎるわよお客さん。』(井 垣 記)

㊦ 郷土史の会

第9回 郷土史の会 御案内(再掲)

今回は久しぶりに講演会を催します。この機会に私達が住んでおります我が街東村山における古代の人々の暮らし振り等に思いを馳せてみては如何でしょうか。同好会のメンバー以外の方々も多数ご参加をお待ち致します。

記

日 時 平成10年 7月18日(土)13時30分~16時

場 所 東村山ふるさと歴史館 視聴覚室

講 師 東村山市教育委員会 生涯学習部

ふるさと歴史館学芸係

学芸員 小 川 直 裕 氏

演 題 「考古学から分かる東村山の歴史」

- 下宅部遺跡の成果を中心として -

(スライドも見せて頂けます。)

会 費 500円

代表幹事 三宅 良太(㊦ 042-394-5298)

㊦ 麻雀同好会

去る 6月14日、第六回麻雀大会をおこないました。前回初参加で今回3位以内目標の張り切り佐野雀士以下12名3卓の戦いとなりました。結果は、木谷幹事長の優勝、準優勝三宅、3位谷城、4位当間雀士でした。表彰式の後懇親会でテニス同好会の初活動報告、囲碁同好会の結成案等の話でまた大いに盛り上がりしました。まだまだ飲みニケーション続けたいところでしたが、当日はワールドカップ日本対アルゼンチンの試合で、早々に皆我が家に帰りテレビ観戦の一日でした。お疲れ様。

今回参加の雀士は、

江藤、大西、小野、木谷、久世、小亀、佐野田口、当間、三宅、谷城、山下でした。

次回大会はみなさんの希望が9月でしたので9月20日(日)に行いたいと思います。

(会 長 小 野、田 口 ㊦ 395-4077)

編集後記

奥島総長のご再任が大新聞各紙に一斉に報じられた(1頁参照)。飾らずに明解な言葉で説かれる奥島総長のお話を拝聴する機会が今後も続くことを心から喜びたい。

今年の梅雨時は寒暖の差が大きい。気温が下がると血圧が上がるパターンは既によく知られている。飲み物や食べ物で適時体を暖めると高血圧を未然に防げると聞いて種々試みしていますが、編集作業などが終わったところでのラフマニノフを聴きながらの一杯が百薬の長になっているようです。(塩 見)

早稲田大学演劇博物館支援特別公演

話芸の魅力 再発見

～江戸下町、隅田川ゆかりの話をきく～



鳥越文蔵



鈴々舎馬桜

講演「舞台から覗く江戸下町のくらし」
鳥越文蔵「早稲田大学演劇博物館館長」
落語「たがや」 鈴々舎馬桜「社落語協会 真打」
語り「驟り雨（はしりあめ 藤沢周平作）」
鎌田弥恵「声優、物語の会主宰」



鎌田弥恵

日時／平成10年7月12日(日)
午後一時三十分開場、二時開演、四時終演(予定)、休憩あり
会場／江戸東京博物館ホール
(JR両国駅前、江戸東京博物館二階)
主催／墨田稲門会

入場料／3,500円
(消費税込み)

全席自由

本講演は「早稲田大学演劇博物館支援特別講演」です。
入場料などの総収入より諸経費を差し引いた残余の収益
金は、早稲田大学演劇博物館振興基金に寄付いたします。

●お問合せ・お申込み：墨田稲門会事務局 演博支援公演 係

〒130-0021 東京都墨田区緑2-15-13 (株)山口商店気付 ☎03-3632-7481

「話芸の魅力 再発見」7月12日(日) 江戸東京博物館ホール公演・会員券お申し込み書

ご芳名	ご購入枚数	枚×3,500円	ご購入金額	計	00円
ご住所	お電話番号 ()				

開催趣旨

一、早稲田大学演劇博物館への支援・協力

第一の目標は「早稲田大学演劇博物館振興基金事業」への支援・協力です。

同基金は、本年十月に創立七十周年を迎える「早稲田大学演劇博物館」の収蔵品の修復や、その膨大な量にのぼる情報の整理・データベース化、そしてそれ自体が貴重な文化遺産でもある建物の補修などを目的として設立されました。

坪内逍遙博士の拠出した資金を基に開設されたこの博物館は、能、狂言、歌舞伎、人形浄瑠璃といった日本の伝統芸能はもとより、民俗芸能、大衆芸能に至るまでの資料を網羅した、日本ではただひとつの施設です。また、日本におけるシェイクスピア研究の総本山としても世界に知られた存在であり、一私立大学の付属施設といった枠を超えて、舞台芸術の研究の場として多くの役割を担っています。

今回の公演は、このユニークな文化遺産の発展を願う振興基金事業に賛同して企画したもので、収益金は振興基金への寄付を通して有効に活用されます。

二、伝統芸能「話芸 語り芸」の普及と発展

かつて人々は話芸の素晴らしさを知っていました。落語、講談、浪曲、あるいはラジオドラマなど、話芸を楽しむ機会にも恵まれていたのでしょうか。

現代は情報の大半を眼からとり入れる映像の時代。コンピュータ文化が日常生活を豊かにしつつあることもまた確かです。でも、コミュニケーションの基本が「語る」と「聞く」とあることに変わりはありません。伝統の「話芸 語り芸」の居心地の良さは、きっとそんなところに秘密があるのでしょうか。

東京は世界でも指折りの文化都市です。オペラ、バレエ、ミュージカル、シェイクスピア劇といった欧米のものだけでなく、中国の京劇、インドネシアのガムラン、アルゼンチンのタンゴ、アフリカの民族芸能……。世界中のあらゆる芸術・芸能が、居ながらにして楽しめます。それはとても素敵なことなのですが、日本の伝統芸能の素晴らしさは、私達日本人が一番良く知っているはずのものです。

世界中のどんな舞台と比べても決して力負けしない「話芸 語り芸」の魅力を、この公演を通して多くの方に伝えていきたいと考えています。

三、江戸下町、隅田川ゆかりの話をきく

江戸が東京になって一三〇年。昔のを知る人も少なくなり、「江戸のにおい」もわからなくなり、いま、受け継ぐべきさまざまな良さが、どんどん失われてきています。江戸っ子の気づき、下町の人情、私たちはそれをどのようにして保ちつづければいいのでしょうか。

今回の公演では、そんな江戸下町の良さを題材にしたお話を集めました。頭ではなく、身体で江戸を感じられる時間です。講演、落語、語りとさまざまな語り口から語られる「江戸のにおい」を胸いっぱい吸い込んで、一三〇年以上も前の人々のくらしぶりに思いを馳せてみてください。この街に生まれた喜びや誇りを感じていただければ、私たちはとてもうれしく思います。

主な出演者のプロフィール

講演：鳥越文蔵【とりごえ ぶんそう：早稲田大学演劇博物館館長】

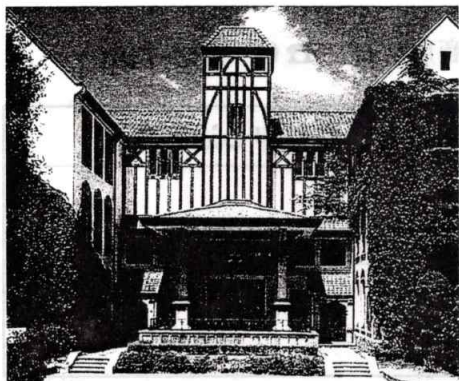
長崎県出身。早稲田大学文学部時代より歌舞伎を専攻。現早稲田大学教授。早稲田大学演劇博物館館長。元禄時代の歌舞伎や浄瑠璃に関する論考が多く、主な著書に「元禄歌舞伎放」（八木書店）、「近松門左衛門」（新典社）、「役者論語（英訳）」（東大出版会）など。また、「歌舞伎評判記集成」（岩波書店）や「義太夫年表近世編」（八木書店）の編纂には進行係として各十数年の期間を費やす。1997年11月、紫綬褒章受賞。

落語：鈴々舎馬桜【れいれいしゃ ばおう：（社）落語協会 真打】

東京都出身。1969年立川談志に入門。前座名・談吾。1982年に立川談生で真打に昇進。立川流の旗揚げに加わったのち、1985年、鈴々舎馬風門下へ移り、馬桜と改名。小さん、談志、馬風など師匠にも恵まれ、着実に実力をつけている。義太夫、地唄舞、狂言、茶道、雑俳など多芸多才で、人情噺、音曲噺、滑稽噺と芸域も広い。現在、寄席や落語会のほか映画、雑誌など幅広く活躍中。NHK新人落語コンクール優秀賞、国立演芸場若手芸芸大賞など受賞も多く、1997年には文化庁芸術祭演芸部門優秀賞を受賞している。

語り：鎌田弥恵【かまた みつえ：声優、物語の会主宰】

NHK放送劇団第2期生。往年のラジオドラマ「君の名は」の有名なナレーション「忘却とは忘れ去ることなり。忘れ得ずして……」で一世を風靡した。日本伝統の話芸「語り」の保存、普及を目的として、「物語の会」を主宰。これまで10数回の自主公演を成功させ、また、早稲田大学演劇博物館への支援活動にも積極的。後進の育成にも熱心に取り組み、門下から次代を担う「語りべ」を輩出している。1991年、文化庁芸術祭受賞。



■ 早稲田大学演劇博物館

早稲田大学演劇博物館は1928年（昭和3）年10月、日本の近代文化の先駆者、開拓者であると同時に、演劇芸術の向上に尽くした坪内逍遙の古稀と「シェイクスピア全集」40巻の完訳を記念して、学界、劇界その他有志1,500人余の寄付を得て設立されました。建物はシェイクスピア時代の劇場フォーチュン座をかたどって設計され、建物自体がひとつの演劇資料になっています。70年にわたって蓄積された収蔵資料は、江戸期の役者評判記や歌舞伎作者の自筆台本、世界的コレクションとして知られる一筆齋文調や写楽など2万5千枚におよぶ浮世絵（芝居絵）、2千数百種の浄瑠璃本、3千8百点余の能楽関係資料、4千点のシェイクスピア関係洋書など、日本で唯一の演劇専門の博物館として質、量とも際だった特徴をもっています。